［ 証言会資料 ］　　令和８（2026）年11月15日　玉名市文化センター

「伝えてきた私の長崎被爆体験
～皆で話そう核廃絶のこと～」

浦田　藤枝　さん　玉名市岱明町・９７歳



1　ご自身のこと　当時のご自宅、ご家族・生活のご様子

2　当時の「城山国民学校」「純心高等女学校」での学校様子

3　純心高女学徒隊
「三菱長崎造船所第三機械工場（大橋工場）での労務内容」

学徒隊制服

学徒隊「神潮」鉢巻き



4　昭和20年8月9日「あの日」被曝の様子

母親との食料の買い出しへ

周りや自宅の様子

見上げた原爆投下機「B29　ボックスクスカー」

骨のかけらになった家族

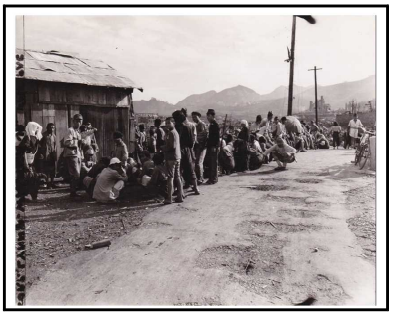
家族を探して

血まみれのおにぎり

当日夕方の米軍機による「機銃掃射」が‥

家族の「検視調書」

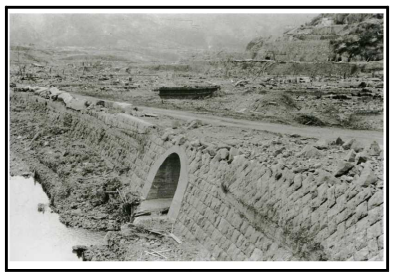
この世ではない「地獄」が
「人間であれば、
人間らしい死に方をさせてあげたかった」

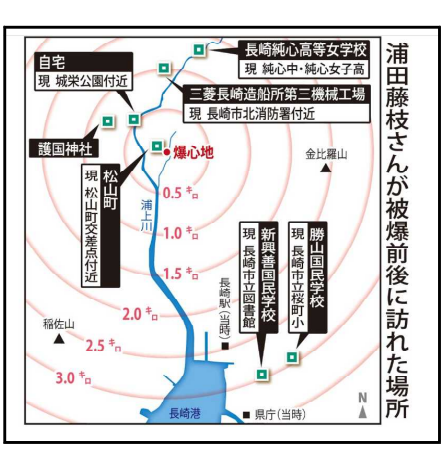




5　敗戦「8月15日」への思い
戦争終結の「みことば」と「平和」

親友の親に
「ぶつけられた怒り」





浦田藤枝さんが被爆前後に訪れた場所

6　戦後は玉名・岱明へ、今の日常をお教えください!!

流言「原爆ぶらぶら病」のこと

生まれた子の手と足を見ろ!

憎悪や命の不安を乗り越えて、生き抜いた戦後81年



戦後８０年被爆体験証言
令和７年８月２３日

7　高校生平和大使等による紙芝居の作成、

たまな地域高校生ピースボランティアによる上演について

あまりにも被爆体験は、

すさまじく現実離れだから‥‥

8　太平洋戦争が終わり「被爆・81年」となります。
いま現在も、ウクライナ戦争・ガザ紛争・イラク戦争
当時の事と重ね、その思いは‥



9　「長崎被曝体験証言会　Ⅱ」で、
会場の皆さま方、若い世代にお伝えしたいことは!

10月3日の「被爆81年　熊本県原爆死没者慰霊式典」

「まずは生きる」

「ふたたびヒバクシャをつくらない」

「核廃絶にむけて」



戦後81年原爆死没者慰霊式典での証言　　10月3日



北稜高校人権教育研修会での浦田藤枝さんとピースボランティア二期生による紙芝居上演　　令和7年10月13日